

FPはあなたの夢を叶える『家計のホームドクター[®]』

FPはこんなときにお役に立ちます

1

子どもの教育費は
どうやって
準備したらいい？

2

家計が
毎月赤字…。
どうしたら
改善できるの？

6

今入っている
保険の保障が
合っているか
知りたい

4

ボーナスを
運用したいけど、
何かいい方法は
ある？

3

マイホームを
買いたいけど、
ローンが払えるか
心配

5

老後が不安…。
いい備え方が
あったら教えて



FP(ファイナンシャル・プランナー)は家計に関する
さまざまなお悩みに答えてくれる、家計のホームドクター[®]です。
家計の悩みが深刻になる前に、ぜひ一度相談してみませんか？

※家計のホームドクター[®]はNPO法人日本FP協会の登録商標です。

本格的なFP相談にはこんなメリットがある！

1

相談者の不安やお悩みに、
時間をかけて丁寧に
カウンセリング



2

将来の収支を
専用ソフトなどで
シミュレーション



3

具体的にお悩みの対策や
不安を解消するプランを
ご提案



4

相談後も親切、丁寧に
アフターフォローします！



※いくつかの例を紹介しています。これ以外にも
様々なメリットがあります。

次ページから、相談の様子をケース別にご紹介します。相談
料金などは東京在住のFPの事例に基づき、作成したもので
す。相談内容や条件などにより異なりますので、実際にご相
談いただく場合には、必ず担当のFPにご確認ください。



赤字家計から脱出 したい！

家計見直し総合診断



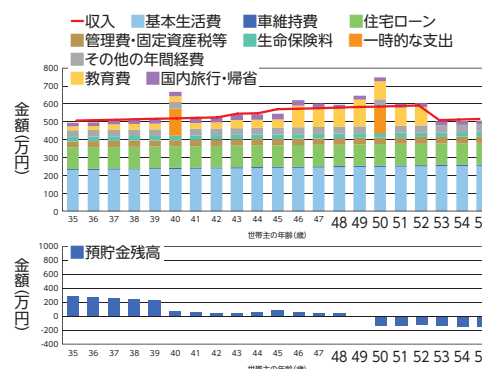
START



現状のままだと 50歳で貯蓄がゼロに！

現在の収入・支出から将来の収支をシミュレーションした結果、このままでは毎年赤字で貯蓄を取り崩して穴埋めする日々が続く、夫が50歳を迎えるときには貯蓄が底をつくことが発覚。早急にか計を改善する必要があることがわかりました。

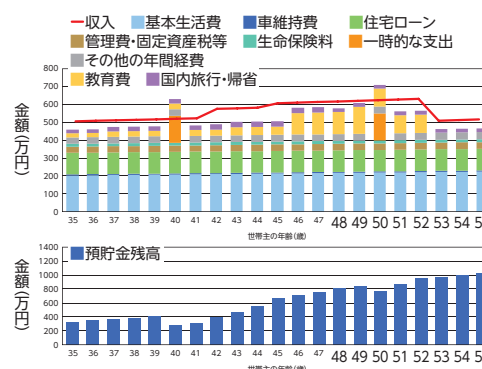
見直し前の家計を分析



家計全体を見直し 妻が働く期間を延長

FPから①住宅ローンを金利が低いものに借り換える②保険を見直して保険料を抑える③妻が働く期間を延長するという赤字解消策の提案を受け再度シミュレーションした結果、50歳以降も貯蓄が増える家計に改善されました。

見直し後の家計がデータでわかる



今回の相談の流れ

- 1 家計について 詳細にヒアリング
- 2 現状のキャッシュフロー (収入や支出、貯蓄の増え方など)をシミュレーション
- 3 家計改善に向けて、収入・支出の額を変えながらさらにシミュレーション
- 4 家計を改善した後のキャッシュフローを確認し 対策をアドバイス

今回の相談のまとめ

相談内容:「家計総合診断」保険・住宅ローンの診断を含む、収入・支出項目のアドバイス(将来シミュレーション付き)

所要時間:約3時間

相談料金:3万5千円～ (再診断料金は1万円～)

※保険商品の募集や勧誘等については「保険募集人」の有資格者がいる場合のみ行えます。

毎月2万円 貯まるね！



相談を受けた感想

「収入を増やして支出を減らす具体的な提案をもらったおかげで、赤字家計が改善され、まずは月々2万円の貯蓄ができるようになりました。このままいくと定年前には1,000万円の貯蓄ができる見込みとなり、将来への漠然とした不安が解消されました」

今入っている保険の保障不足が心配

保険見直し相談

START



保障の内容を しっかり確認

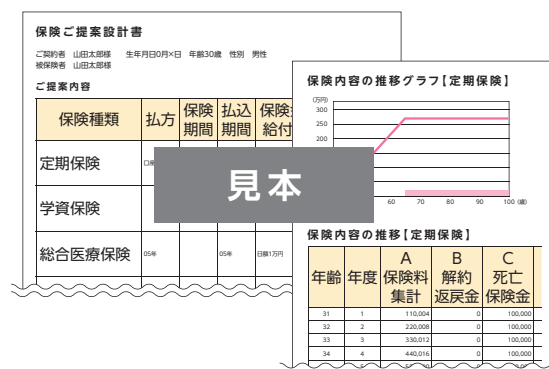
子どもが生まれたので保険を見直すことにしたBさん夫婦。必要な保障額はいくらかをシミュレーションしてもらい、加入している保険の保障と照らし合わせてもらったところ、夫が死亡した場合の保障額が大幅に不足していることがわかりました。

いま加入している保険を整理

契約者	被保険者	受取人	保険種類	年月日	契約満期	払込満期	保険料	主な保障内容	
								病気死亡	災害死亡
1	夫	夫	A社	2009/7/1	2047/6/30	21,094円	4760万円 の補償で 1000万円	4760万円 の補償で 1000万円	
2	夫	夫	見本				500万円 の補償で 100万円	1000万円 の補償で 100万円	
3	夫	夫						500万円 の補償で 100万円	1000万円 の補償で 100万円
4	妻	妻	A社	2008/4/1	2038/3/31	15,850円	1000万円 の補償で 300万円	1000万円 の補償で 300万円	
5	夫	妻	B社	2012/5/24	払込満	—	300万円 の補償で 100万円	300万円 の補償で 100万円	

見直しプランで 保障を確保

不足している保障をしっかりと確保できるように、加入中の保険を生かしながら足りない保障を確保する見直しプランを提案してもらったBさん夫婦。保険の内容も理解でき、保障不足もしっかりと改善。万一のときに対する不安が解消されました。



今回の相談の流れ

- 1 保険証券などを見ながら
いま加入中の保険の
保障内容を確認
- 2 家族の将来を見据えて
本当に必要な保障を確認
- 3 必要な保障を
確保するための
見直しプランを検討
- 4 保険商品の選択も含めた
具体的な見直しプランを
提案

今回の相談のまとめ

相談内容: 現状の保障の確認、必要保障額の算出、具体的な見直しプランの作成

所要時間: 約2～3時間

相談料金: 1万2千円～

※ 保険商品の具体的な提案・契約については「生命保険募集人」の有資格者がいる場合のみ行えます。

保険料も
手頃！



相談を受けた感想

「保険でいくらかい保障を確保したらいいかがかしっかりわかったので安心。自分が加入する保険についても詳しく説明してもらえたので、納得して加入することができました」

どんな住宅ローンを選んだらいい？

住宅ローン相談

START



変動型と固定型の メリット・デメリットを確認

不動産会社で住宅ローンには変動型と固定型があることを知ったCさん。変動型は低金利ながら、金利上昇に伴い返済額が増える可能性があること、固定型は金利は高いものの、返済額が一定という利点があることなどの説明を受けました。



複数の金融機関で返済プランを確認

	A銀行	B銀行	C銀行	D銀行	E銀行	F銀行
	変動金利	3年固定	5年固定	10年固定	全期間固定	元金均等
当初金利	0.650%	2.950%	2.950%	3.150%	1.62%	1.62%
11年目以降金利	—	—	—	—	1.62%	1.62%
当初キャンペーン金利	—	-2.45%	-2.40%	-2.30%	—	—
継続キャンペーン金利	—	—	—	—	—	—
返済期間	35	見本				35
借入金額	40,000,000					40,000,000
当初月返済金額	106,508	103,834	104,720	110,140	124,839	149,238
最大月返済金額	141,913	154,435	151,217	132,322	124,839	149,238
当初年間返済金額	1,278,090	1,246,010	1,256,645	1,321,676	1,498,063	1,782,371
最大年間返済金額	1,702,952	1,853,216	1,814,605	1,587,866	1,498,063	1,782,371
総返済金額	52,888,498	56,634,049	54,985,584	51,428,225	52,432,214	51,367,000

※見本です。記載されている数字は実際のものとは異なります。

複数の住宅ローン プランを提示してもらう

金利タイプや金融機関によって、どのように返済プランが変わるのかを具体的にシミュレーションしてもらったCさん。一度持ち帰り自宅じっくり検討したあと再びFPの元を訪問し、具体的なローンの申し込み先を決めることができました。

今回の相談の流れ

初回

- 1 希望するマンションの金額や頭金の額などをヒアリング
- 2 自身が無理なく買える物件価格や無理のない毎月返済額をチェック
- 3 経済情勢を踏まえ、複数の金融機関の金利を確認
- 4 さまざまな金利タイプで返済シミュレーションを実施

2回目

- 1 持ち帰って決めたプランで再度問題ないか相談し、借入先を決定

今回の相談のまとめ

相談内容: 住宅ローンの返済シミュレーションの実施、具体的なプランの作成、複数の金融機関や金利などの情報提供

所要時間: 各回約1時間

相談料金: 1回目:1万円～

2回目:5千円～

※このほか、借り換えや繰り上げ返済の相談も可能です。

私に
ピッタリ！



相談を受けた感想

「住宅ローンの返済額が金利によってどう変わるかがよくわかりました。固定型、変動型、ミックス型の中から自分に一番合うものを選べたと思います。女性の一人暮らし家計を考慮してプランを出してもらえたのが嬉しかったですね」

退職金を上手に増やしたい！ 資産運用相談

START



元本割れをどの程度 許容できるかチェック

退職後の余裕資金1,500万円を運用したいとFPの元を訪れたDさん。どの程度の元本割れなら気持ち的にも家計的にも耐えられるのかを相談の中で確認したうえで、実際に投資できる金額と、目標とする運用利回りを提案してもらいました。

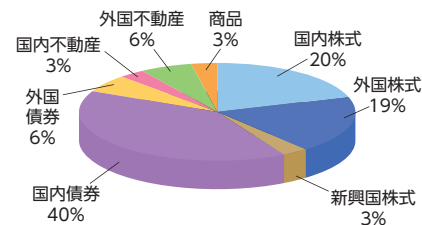
投資対象の組み合わせ を提案してもらおう

経済状況や主な金融商品についての説明を受けた後、どんな資産にどのような比率で投資をしたらよいかをまとめた資産配分案を作成してもらうことに。投資対象が明確になり、具体的な一歩を踏み出す気持ちになりました。

より具体的な運用プランや アドバイスを受けるには

FPが「投資助言・代理業」などの資格を持っていない場合でも、「投資助言・代理業」などの資格を有している提携先と連携することにより、具体的な資産配分や金融商品の紹介などを含めた包括的な資産運用相談をすることが可能です。

より具体的な資産配分の例



今回の相談の流れ

- 1 家計や投資経験、その人の性格などを考慮してリスク許容度を確認
- 2 投資できる期間や金額と目標利回りを検討
- 3 (目標利回りに合わせた) 投資対象の組み合わせ※の提案
- 4 定期的な運用の見直し(運用成績により変化した投資配分の比率を調整)

今回の相談のまとめ

相談内容: リスク許容度と投資金額の確認、目標利回りに合わせた運用プランの作成

所要時間: 約2～3時間

相談料金: 初回相談1万円～(投資顧問契約を結び、年間を通じて定期的に投資商品の助言を受ける場合は年間12万円～)

10年で1.3倍をめざします



相談を受けた感想

「金融商品の特性を理解したうえで、自分がどのくらいの元本割れに耐えられるのかわかったのが良かったですね。退職金1,500万円のうち1,000万円を目標利回り3%で運用できたら、10年後には約1,344万円! 頑張ります(笑)」

※(国内株式、外国株式、国内債券、外国債券)の4資産

金融商品取引法に基づき、「投資助言・代理業」の資格がなければ、投資助言行為など、具体的なプランや投資先のアドバイスを行うことはできません。